



山根とみえ  
Tel・Fax 550-6674

山根とみえ



Tel・Fax 550-4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax 558-9721

6月市議会

山根とみえ議員の一般質問

日本共産党の山根とみえ議員は、改選前最後の6月市議会で(1)市民の足の確保について(2)安心・安全のまちづくりについて質問しました。以下質問の内容をお知らせします。

市民の足の確保について

質問① いつでも・誰でも・どこへでも移動できる権利としての交通権についての当市の考えは。

答弁 公共交通機関の充実を図る場合、財源の裏打ちが必要となる。施策の優先順位や効率性、財源確保策などの検討を行い、総合的な判断のもと対応していく。

質問② JR五日市線の始発を早めることや、立川・東京直通を増やすための働きかけは行っているか。

答弁 毎年度、構成8市町村の首長がJR東日本八王子支社に出向き要望活動を行っている。今後も増発・施設改善など、継続的に要望活動を行っていく。

質問③ 「るのバス」の改善について

ア 多摩26市の市内循環バスの運行状況(バスの台数や路線数)と運行経費はどのようになっているか。

答弁 循環バスを運行している23市のうち、バスの台数については、5台以下が15市、路線数では、4路線以下が18市、運行経費では23市の平均が約1億8千万円、15台のバスを運行している武蔵野市が最も高く3億8千万円、13台のバス運行の西東京市の運営費補助金は1億6千万円、6台の運行の三鷹市は300万円で最も少なくなっている。バス1台はあきる野市だけ。

イ 現在運行している「るのバス」は本数も少なく一回りに時間がかかりすぎるなど、利用しにくい運行形態となっている。バスの台数を増やし利用しやすく改善すべきと思うが、市は改善の必要性についてどのように考えているか。

答弁 増車については、「あきる野市循環バス等地域公共交通検討委員会」の検討結果を踏まえ、1台の運行を継続することとしている。

法律相談

8月20日(火) 13時30分~15時

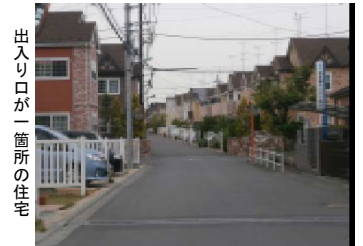
予約が必要です。市議団までご連絡ください。

質問④ 本年3月よりバスが入れない盆堀地域に小型のワゴン車の運行が開始されることになった。他の同様の地域の交通対策は。

答弁 今後、地域の要望を聞きながら運行手法を研究していきたい。

安心・安全のまちづくりについて

質問① 草花のプリティッシュタウンの住宅地には入り口が一つしかない。災害時の非難道路について具体的に検討しているか。



出入り口が一箇所の住宅

答弁 住宅地の段上にある主要地方道29号線立川・青梅線に接続する市道2357号線を検討したいと考えている。

質問② 学童の通学路の安全対策について

ア 折立上河原地域に隣接した羽村市清流町内の老人ホーム建設に伴い、ダンプなど大型車が相当数入ってくることが想定される。地域住民や学童の登下校の際の安全対策を考えているか。

イ 草花・森山地域から草花小学校へ通じる道路の安全対策は

ウ 永田橋交差点付近の安全対策の、その後の進捗状況は

答弁 ア 地域住民から出ている要望書の内容をよく精査して所轄警察署、道路工事請負者、施設建設請負業者と綿密な協議を行っていききたい。

イ 道路の拡幅工事が完成するまでの間、路側帯のカラー化等の対策を引き続き行っていききたい。

ウ 再三、用地交渉を行っているが地権者の同意が得られていないため、粘り強く交渉していくとのこと。

質問③ 二宮パークショッピングセンター前に、横断歩道又は手押し信号の設置ができないか。

答弁 平成18年度以降、毎年、信号機の設置要望書を福生警察署に提出している。今後も設置に向けて要望を続けていく。